

| No. | 研修日 | 研修形態 | 参加議員名 ※ | < ■研修先 / ★研修項目 > |
|-----|----------------|---------|---|---|
| 1 | 令和4年 5月23日 | 文教民生委員会 | 大平 直昭(正) 白川 雅仁(副) 五味 伸亮 篠原 和代 合田 千佳子 岸上 政憲 | ■ 愛媛県大洲市 |
| | | | | ★ 大洲市学校給食センター整備事業について |
| | | | | |
| 2 | 令和4年 10月28日 | 文教民生委員会 | 大平 直昭(正) 白川 雅仁(副) 五味 伸亮 篠原 和代 合田 千佳子 | ■ 愛媛県四国中央市 |
| | | | | ★ 子ども若者発達支援センターについて |
| | | | | |
| 3 | 令和4年 11月8日 | 広聴広報委員会 | 白川 雅仁(正) 大平 直昭(副) 篠原 和代 合田 千佳子 三好 優子 岸上 政憲 | ■ 徳島県小松島市 |
| | | | | ★ オンラインタウンミーティングについて ★議会モニター制度について ★議会だよりについて ★委員会の録画配信について |
| | | | | |

令和4年度 観音寺市議会 個人研修状況

| No. | 研修日 | 研修形態 | 参加議員名 | < ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 > |
|-----|-------------------|--------|--|---|
| 1 | 令和5年 1月18日～20日 | 個人行政視察 | 豊浦 孝幸 井下 尊義 合田 千佳子 大平 直昭 伊丹 準二 | <p>■ 愛知県瀬戸市</p> <p>★ DKエルダーシステムについて(大人の本気ダンスプロジェクト～音楽を用いた介護予防で高齢者を元気に～)</p> <p>◆ ①元気な高齢者を増やしていくための介護予防、生きがいづくりが必要だということで、株式会社第一興商が提供する通信カラオケ機器「DAM」を活用し、「うたと音楽」のチカラを使って、楽しみながら継続できる効果的な機能訓練、介護予防を実施するためのシステムを導入。 ②参加者からは体力づくりや交流の場が生まれるきっかけになったという声がある中、男性の参加者が少ない、カラオケ機器の使用が難しいなどの課題がある中、自宅で行えるオーラルフレイル予防としての普及啓発や、伝道師が伝道師を養成する“自走モデル”を目指す。</p> <p>■ 群馬県沼田市</p> <p>★ AIデマンドバスについて</p> <p>◆ ①コミュニティバスの利用者数の減少、市支出の増加、議会からの一般質問、住民アンケート、ワークショップなどの経緯を経て、公共交通空白地域の解消、交通弱者が利用しやすい公共交通の構築、持続可能な公共交通(市支出の適正化)などを目的に、AIを活用したデマンドバスを導入。(1992年4月) ②特徴としてはごみステーションを基本とした乗降ポイントの設定、拡張性のあるMONETアプリの活用などがある。 ③運行開始から間もないため認知度が低い、予約の難しさ、既存交通との乗り継ぎ、収支状況などの課題があり、運行要件の見直し、交通系ICカード決済導入、LINE予約システムなどを検討していく。</p> <p>■ 群馬県利根郡川場村</p> <p>★ 道の駅 川場田園プラザ</p> <p>◆ ①敷地:6 ha(東京ドームの約1.5倍)、約20施設(ファーマーズマーケット 他) ②1998年開業(川場村第3セクター)、2007年(来場者数 約62万人、売上約5億円)に赤字に転落。同年現在の永井彰一氏が社長に就任、従業員の意識改革、接客技術の向上、設備投資、商品開発などに徹底的に取り組むことにより、現在の来場者数は200万人以上。(リピーター7割) ③社長直々による研修を受け、この道の駅は店として会社としてやるべき基本的なことを徹底することにより、現在の成功につながっている。</p> <p>■ 東京都江東区</p> <p>★ 江東区夢の島スケートボードパーク</p> <p>◆ ①堀米選手が山崎孝明区長に東京オリンピックで金メダル獲得を報告した際、練習環境の充実を要望したのがきっかけとなって、パークの整備事業がスタートし、2022年11月にオープンした。 ②整備事業費2億7,347万円の内、約3,900万円が補助金(TOTO及び東京都)、約4,000万円はクラウドファンディング等の寄附金。 ③地中に廃棄物が埋まっていることや川の護岸が近いため、経費面も含めかなり苦労しながら、担当者の方々が熱意をもって完成させた施設で、親子連れも含め多くの人が利用している。</p> |
| 2 | 令和5年 2月14日～15日 | 個人行政視察 | 篠原 重寿 大久保 隆敏 五味 伸亮 藤田 均 | <p>■ 岡山県笠岡市</p> <p>★ 道の駅 笠岡ベイファーム</p> <p>◆ 施設概要:PFI事業で建設・運営。平成23年8月にオープンした。 建設費:5億5千万円(国交省3億6千万円 駐車場等、笠岡市1億9千万円 物産・食堂棟) 事業規模:5,500㎡(駐車場:普通車用80台、大型車用46台、障がい者用3台) 設置経緯:商工会議所より建設を求める声が上がリ、平成19年市が事業化。国道2号バイパス開通と合わせ道の駅構想を具体化し、国交省が休憩所部分を担う。開設以来、年間80万人の来客と、売上げ5億円弱を維持。駅周囲の12haの農地にて、ヒマワリ・マーガレット・菜の花が年間を通して咲く花畑を整備し、その景観を目的として訪れる人が多い。</p> <p>■ 広島県三原市</p> <p>★ 道の駅 みはら神明の里</p> <p>◆ 国交省(駐車施設)及び市(駅舎等の5億円は合併特例債)により建設。運営は指定管理者制度を利用している。 事業概要:平成24年3月供用開始 面積18,000㎡(駐車場:普通車用100台、大型車用13台) 設置経緯:国道2号バイパス整備に伴い、国は休憩施設を計画。市は道の駅整備構想決定。 来場者数・収入とも増加傾向(令和3年度62万人 収入4億円余り)市からの委託料は無し。</p> |